

平成26年 施政方針

第168回浦添市議会定例会が2月21日から3月27日まで開催され、松本哲治市長は、引き続き「市民の夢や活動を応援し、市民と共に進むまちづくり」、「無駄を省き、効率性を高めた経営感覚を持ったまちづくり」および「喜びと感謝と愛に満ちた、市民一人ひとりが輝くまちづくり」に取り組んでいくと表明しました。

平成26年度施政方針について、主な内容を抜粋して掲載します。

希望と活力にあふれた 生活創造都市

産業振興を図るため、産業活動の拠点としての役割を担う、「浦添市産業振興センター・結の街」を、管理運営および店舗型創業支援を可能にするなど、機能強化を実施してまいります。

伝統文化を発信する国立劇場おきなわを中心とするエリアにおいて、「組踊」などの伝統芸能を観光産業として活用するとともに、沖縄県が実施する、文化発信交流拠点事業（仮称）おきなわ文化芸術結の都構想と連携を図り、西海岸開発と連動した浦添市の新しい観光産業の芽出しを図ってまいります。

通り会等の活性化については、地域の特色を活かしたイベント等を後援し、誘客が図れるよう取り組んでまいります。

市産品の販路拡大については、浦添の物産と観光展を県内外で開催し、多くの市産品のアピールに努めてまいります。

また、観光商品の開発、産業の情報発信を強化し、観光産業等多くの産業振興を図ってまいります。

東京ヤクルトスワローズ関連については、夏の神宮球場ホームゲームを「浦添デー」と銘打ち、浦添市の「物産と観光展」を実施し全国にアピールしてまいります。

また、ヤクルトスワローズ球団に關係する浦添市と愛媛県松山市、宮崎県西都市、新潟県燕市の4自治体による少年スポーツ交流をはじめ、文化・観光・物産等の相互交流を行い、知名度の拡大と地域振興に取り組んでまいります。

農業の振興としては、新規就農者に対する青年就農給付金の給付により、生産安定までの期間を補助し、担い手の育成・確保に努めてまいります。

また、市内の休耕地を活用した市民農園等の拡大、さらなる農地の有効活用に取り組んでまいります。

養蚕普及事業については、桑葉や果実を原料に蚕や糸、食品等の地域特産品開発や普及を図り、市民サービスとして養蚕・製糸場の見学や繭人形作りの体験などを継続してまいります。

織物事業については、浦添産の糸を活かした織物の商品開発、養蚕業および流通業との連携を行い、県内外へのつらそ

世界に翼を広げる 交流文化都市

就学前教育については、現在、公立幼稚園で実施している「預かり保育事業」において、希望する幼児全員を保育できるよう事業の充実を図り、子育て支援を推進してまいります。

学力向上の施策として英語検定等の受験を推奨するなど、学力向上に努めてまいります。

「浦添市教育情報化推進計画」では、電子黒板や大型地デジテレビと併せ、「電子教科書」の活用促進および、情報端末や実物投影機、その他ICT機器を有効に活用し、これまで以上に、児童生徒の興味関心を高め、学力向上を図ってまいります。

高校進学前の保護者の経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生の学校給食費について補助を実施し、子育てを支援してまいります。

学校施設の整備については、平成26年度は浦添小学校校舎およびプールの改築と併せて、学校と地域が連携する、浦添小学校地域連携施設の整備、港川小学校改築の実施設計を行なってまいります。

また、教育環境の改善のため、「内閣小学校外構整備事業」および「当山小学校防球ネット設置事業」を実施してまいります。

青少年健全育成については、関係機関と連携し、地域ぐるみで青少年健全

え織の流通を維持してまいります。

雇用改善については、国・県の諸制度を活用して求人・求職活動を支援し、市内企業・従業員等に対し、就業の安定と企業の振興を図り、さらに施設賃借補助や中小企業の福利厚生の実を支援し、雇用の安定に取り組んでまいります。

那覇港湾整備は、引き続き那覇港湾計画に基づき、整備を推進してまいります。

那覇港浦添ふ頭地区については、第一ステージ事業において、既存の沖縄観光にはない新たな付加価値をもつ、賑わいとゆとりのある質の高い都市リゾート形成を目指して、大型商業施設等の企業誘致を推進してまいります。

また、第二ステージとなるコースタルリゾート地区は、観光立県沖縄における、魅力ある国際観光交流拠点の形成に向けて、那覇港管理組合とともに、環境影響評価の現地調査を実施してまいります。

「浦添市スーパー・コミュニケーションショナル



育成の充実に努めるとともに、教職員を補佐する生徒サポーターを派遣するなど、課題を抱える青少年問題への取り組みを強化いたします。

「中国泉州市中小学校交流事業」については、平成26年度は泉州市からの受入を行い、国際社会に対応する青少年の人材育成に引き続き取り組んでまいります。

ただこ市民大学では、本市のまちづくりに寄与できる人材を育成し、学んだ成果を地域社会や学校教育等に還元できるように支援してまいります。

文化振興事業については、浦添市文化芸術振興事業長期計画に基づき、主要な事業の一つとして「浦添市音楽祭」を開催し、音楽や文化に対する関心を高めてまいります。

美術館では、開館25周年のプレイベントとして、子ども達が美術や工芸を楽しむながら学ぶことができる「親子で楽しむアート&クラフト展」を開催いたします。

浦添グスクの復元整備および世界遺産追加登録に向け「史跡浦添城跡保存整備事業」を引き続き実施してまいります。また「地域資源復元推進事業」の一つとして中頭方西海道の石畳舗装工事を実施し、歴史・文化の薫るまちづくりを推進します。

浦添市の歴史文化資料を市民共有の財産と



して整備保存し、後世に引き継ぐために「浦添の歴史文化整備保存事業」に取り組んでおりますが、平成26年度は浦添市移民史本編を刊行いたします。

ともに支え合う健康福祉都市

地域福祉については、平成26年度を初年度とする5か年計画の「第四次浦添市地域福祉計画」に基づき、地域人材の確保や地域交流を行い、関係団体との協働のもと保健福祉活動の充実を推進してまいります。

「ミニユニソーシャルワーク事業」については、地域における相談と支援体制を確立し、ミニユニティづくりを促進してまいります。さらに、地域の防災力の向上および災害時の支援体制の強化に努めてまいります。

「健康・食育うらそえ21」および、「第2期特定健康診査等実施計画」に基づき、生活習慣病の発症および重症化を予防するため、肥満対策の強化に取り組んでまいります。

子育て支援については、子ども・子育て支援法に基づき「子ども・子育て支援計画」を策定し、子ども達の健やかな成長が実現できる社会をめざしてまいります。

「放課後児童健全育成事業」については、内閣小学校敷地内へ学童クラブ室を整備してまいります。

市内の全小学校区に整備した児童センターについては、子育て拠点として活用しており、多様化する市民ニーズ

スクール」において、国際的なコミュニケーション能力を有する人材育成を行い、国内外観光客の受入などを視野に入れた「雇用につながる人材育成」を行ってまいります。

快適で安らぎにみちた都市環境の確保のため、引き続き土地地区画整理事業を推進してまいります。

牧港補給地区の跡地利用については、跡地利用基本計画や関連法令等を踏まえ、地権者・市民との合意形成に努め、浦添の未来を拓く空間の実現に取り組んでまいります。

沖縄都市モノレールの浦添ルート整備については、広域公共交通基幹軸の構築と、利便性が高く環境に優しいまちづくりの形成を図るため、沖縄県、那覇市および沖縄都市モノレール株式会社とともに事業の推進に努めてまいります。

補助幹線道路の新規事業としては、市道前田線の整備、仲西2号線と牧港中央線の橋梁長寿命化の整備に着手してまいります。

また、浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観の創出を図るため、道路美装化を継続して実施してまいります。

水道事業については、水の安定供給を確保するために引き続き、配水管網の耐震化管路整備を推進してまいります。また、遠方監視システムによる効率的な水運用を推進してまいります。

に対応した事業運営の拡充に努めてまいります。

児童虐待の早期発見と虐待防止の取り組みとしては、要保護児童対策地域協議会の機能強化を図るとともに、複雑多様化する相談に応える相談員を配置し、全ての子ども達が健やかに育つ環境の整備を推進してまいります。

養育困難な母子世帯については、母子生活支援施設浦和寮において相談援助や保育の提供、学習等の支援を行い、自立促進に向け取り組んでまいります。

待機児童については、法人保育所の施設整備等を促進し、その解消に向けて取り組んでまいります。

また、認可外保育施設についても、入所している乳幼児の健やかな成長と、処遇の向上を図るため、引き続き支援してまいります。

高齢者福祉については、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の構築を推進してまいります。

家族介護支援事業については、地域における認知症高齢者の見守り体制の構築と認知症に対する知識のあるボランティアの育成を行うなど、その家族への介護負担の軽減を図ってまいります。

介護予防事業については、要介護・要支援状態となることを予防し、地域において、健康で生き生きとした人生を営むことができるように支援してまいります。

中高年齢者の健康づくりと生きがい